

平成 30 年度第 2 回伊勢市総合計画審議会 議事要録

◆日時 平成 30 年 5 月 21 日（月）19：00～20：00

◆会場 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4 階大会議室

◆出席委員

山本 誠委員、森 裕美委員、美濃 松謙委員、竜田 和代委員、池田ミチ子委員、
永井 正高委員、山本 康史委員、酒徳 雅明委員、岩崎 良文委員、西村 純一委員、
西村 幸泰委員、三村 和也委員、新田 均委員、福井夏美委員

◆欠席委員

浅野 聡委員

◆出席職員

情報戦略局【情報戦略局長、情報戦略局参事、企画調整課課長補佐、同課主査 2 名】

環境生活部【環境生活部長、環境生活部参事】

教育委員会【教育事務部長】

健康福祉部【健康福祉部長】

危機管理部【危機管理部長】

産業観光部【商工労政課長、農林水産課副参事、観光振興課長】

都市整備部【都市整備部長】

上下水道部【上下水道部次長】

総務部【総務部参事、職員課副参事】

◆内容

◇会議録（要録）

以下の要録は、事務局により要旨を編集したものです。微妙なニュアンス等が表現されておきませんので、ご了承ください。

○前回の振り返り

平成 30 年度第 1 回議事要録をもとに事務局より説明。

○答申（案）について

前回審議会の結果を受け、会長が取りまとめた答申（案）について意見を交わした。

- ・ 2 ページ目の 2 行目「審議会委員は、総合計画を自らが主体的に策定できると考えていたが…」とあるが、委員全員の見解であったということで良いのか。通常、審議会の最初に説明があると思うが。
- ・ 会議でも説明はあったが、認識に違いがあった。附属機関の役割を確認する中で明確になった部分があった。
- ・ 2 ページ目の下から 1 行目の「(ウ) 市民アンケート」の実施は、計画をつくる前提として市民の方々に予算を費やしお願いするもので、計画の答申が済んだ後、伊勢市がどういう風な判断をするか少し疑問に思う。また答申が終わった後、市長のコメント

をいただいてこの審議会としてどういう風に動くのか。

- ・計画は作りっぱなしではなく、今後審議会は進行管理を担うので、その参考にする。アンケートについては、答申に要望として出すもので、要望に対する執行責任はないが、するにしろしないにしろ説明責任はあると思う。
- ・パブリックコメントの意見でもあったが、外国に住んでみるとわかるが、外国では自分のバックグラウンドを語れることで信用が得られる。だから、学校教育で少なくとも神宮のことは宗教としてではなく、文化として捉えて教えてもらった方が良いと思う。最近神話に触れることが多く、神話からつながる場所に「出雲」、「高千穂」と同じく「伊勢」が出てくる。そこに住んでいることなどを子供たちに認識してもらいたいと思う。おもてなしの心などと言っても、自分たちが伊勢のことを知らなければ話にならない。伊勢のことを理解してもらい、伊勢のことを愛する人を育てることで、それがまちづくりにもつながり、郷土愛となり、暮らしやすい町になって人口減少が抑制され、交流人口も増え、伊勢のまちが発展していくのではないかと。
- ・いせトピアで行事をした時の話であるが、ビニールロープの代わりに縄を使用した際、宗教がらみと指摘されたことがあったが、何でも昔のものを宗教と繋げてしまうのはおかしいと思う。最近はお木曳きやお白石持行事は神宮に関係する行事であるが、昔は全員参加になっていて、子供から大人まで動ける限り参加できることを誇りに思っていた。最近、参加しない人も出てきており、つながりが希薄になってきているので、そういった面でも教育で神宮を知ることを寛容に取り入れてもいいと思う。
- ・教育は地方の活性化にとって特に大事なもので、アンケート調査にいくら費やしても構わないと思う。
- ・「政教分離」が教育に宗教を持ち込まないという意味であれば、学校教育で宗教は出てきてはおかしいが、仏教やキリスト教は出てくる。しかし、「寺→仏教」、「教会→キリスト教」は知っているが、「神社→神道」というのを子供たちは知らない。神道だけ外されていると感じる。また修学旅行で奈良・京都を訪れると法隆寺に見学しているのに、春日大社には駐車場にバスを止めただけで参らないという小学校がある。これをどう思うか。伊勢であるのに神道、神宮を外している。宗教を教えるのであれば、平等にある程度最低限のことは教えてほしい。50年、100年、お木曳きが行われ、多くの人々が伊勢市を訪れて経済発展し、雇用も生まれる伊勢市になってほしい。
- ・その小学校は法隆寺の他にはどんな宗教施設を見学しているのか。
- ・二月堂、三月堂、東大寺、清水寺、二条城、三十三間堂、金閣寺で、寺院ばかりである。
- ・学校も公共機関なので、政教分離の対象になる。憲法の政教分離原則の判断基準となる目的効果基準によると、特定の宗教を応援することは勿論ダメだが、特定の宗教を排除することもいけない。そうすると政教分離上問題があるという可能性がある。
- ・どのようにして、どういう場所が修学旅行先選ばれているのか調査してほしい。
- ・2 ページ目からの「2. 答申内容」について異論はないし、アンケートについても、単独で実施するのではなく市が定期的実施しているアンケートに乗せていけば良いと思う。しかし、「1. 経過」について、市の執行機関と審議会の意見が対立して

いたことが詳しく強調して記載され、事実だと思うが、ここまで書く必要はないと思う。私たちが市長や市民に伝えたいことは、総合計画の中の特に教育、文化のところ
で伊勢神宮も含めた宗教というものを学ぶことが子供たちのアイデンティティや
我々の地域の郷土愛につながるということを強く訴えているということ。それを市の
執行機関がどのように受け止めたのかという部分で意見相違があったことがはっきり
していれば良いと思う。もう少しアイデンティティ教育や、地域の文化教育のため
の宗教への取扱、基本構想の中にある「伊勢」、「神宮」という言葉を基本計画の中に
反映してほしいということが伝われば良いと思う。

- ・なぜ両論併記になったのかという理由を市民に知ってもらうためにこのような書き方
になった。詳しくすぎるといふのであれば、「1. 経過」は書き換えることとする。
- ・様々な方々が答申を目にする中で、それぞれの意見があるとは思いますが、総合計画をも
とに市政運営を進める中で、この答申に対立色が強く出てしまうのは、どうなのかと
思う。市民のために作るものであるので、多数の意見がある中で、穏やかな表現で良
いと思う。
- ・2 ページ目の2行目「審議会委員は、総合計画を自らが主体的に策定できると考えて
いたが…」とあるが、自分は主体的に策定できると思っていなかった。自分の専門分
野で現場の様々な課題を見つめながら、当局と様々な意見交換をしながらより良い計
画になるよう調整をさせていただいたので、この部分は少し認識が違う。

⇒「2. 答申内容」は異論はなし。答申内容に本日出た意見を加え、「1. 経過」につ
いては本日の意見を参考に会長一任で修正し、表現を調整する。

○今後について

- ・6月1日（金）（11：30～12：00）に市長への答申を予定。そのあとに意見交換の場
を設定できればと思う。答申案の修正版ができ次第、委員の皆さんに確認していただき、
反映したものを最終答申としたい。欠席委員にも連絡する。
- ・総合計画は、議会の議決を経て、7月ぐらいに確定する予定。
- ・来年度予算を編成する前の9月～10月の時期に、第2次計画の総括を含めた進行管
理を予定する。実施計画は、基本計画にぶら下がる事業を整理したものを市で作成する。